

第23回武蔵野美術大学 地域フォーラム「アート&デザイン 2017 神奈川」 — 港町横浜に吹くアートの風 —

D-YCAP 理事

洋画家

堀 篤子

横浜の芸術・文化活動を担っている市民の開催です。

市民のそばにある展覧会「第5回横浜開港アンデパンダン展」のスタッフが手掛ける『武蔵野美術大学校友会神奈川支部 M 展 2017(武蔵野美術大学出身作家による)』が間もなく開催されます。神奈川支部の素晴らしいところは、専門の人たちに評価されればよいという一種の業界人的な発想ではなく、知識や技術がなくても描きたいと思ったとき、作りたいと思ったときにすぐに手を添えてくれるところです。「思い」を持つ人の「市民のアート」を支えています。

会場の一つ「横浜市開港記念会館」は100周年を迎えます。先日も2階に展示してある和田英作「開港前の横浜村」(70号)が、美術保存修復センターによってお化粧直しをしました。開港「横浜」をぜひ感じてほしいと思います。展覧会の概要・詳細は武蔵野美術大学校友会にアクセスしてください。一部紹介しますので、ぜひお出かけください。

http://www.msb-net.jp/news/news_art_design/2017/04/19/14692

【プログラム】

○第一部(第一会場)【展示&ワークショップ】—アートの心を次世代に伝える—

会場:YCCヨコハマ創造都市センター3F イベントスペース

・6月22日(木)~6月26日(月)

「武蔵野美術大学出身作家によるM展」武蔵野美術大学校友会神奈川支部展

11:00~19:00「武蔵野美術大学出身作家によるM展」入場無料

・6月24日(土)13:00~16:00

「ワークショップ・ピンホールカメラづくり」講師:飯田鉄(武蔵野美術大学非常勤講師)

参加無料 対象:小学生高学年・中学生 募集人数:12名

会場アクセス:みなとみらい線「馬車道駅」1b出口(野毛・桜木町口・アイランドタワー一連絡口直結)、JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分、JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩7分

○第二部(第二会場)【講演】—港町横浜に吹くアートの風—

会場:横浜市開港記念会館 講堂

・6月25日(日)13:00~15:10「講演」入場無料・先着200名様 全席自由席

講師:猿渡紀代子(大佛次郎記念館 特任研究員)

宮崎和之(アンデパンダン展実行委員長)

平山健雄(ステンドグラス横浜マイスター)

会場アクセス: JR 京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分、市営地下鉄線「関内駅」1番出口徒歩10分、みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分、バス「本町1丁目」から徒歩1分、「日本大通り駅・県庁前」から徒歩3分